

フィンランド語文法：上級⑦

時相構文（1）

「フィンランド語との対話—吉田欣吾」

<https://yoshidakingo.com/>



時相構文とは

- 時相構文とは kun-節に相当する内容を表現する構文のことである。

Isä nukkuu **äidin lukiessa** lehteä.

= Isä nukkuu, **kun äiti lukee** lehteä.

母が新聞を読んでいるとき、父は寝ている。



e不定詞内格

- e不定詞（＝第2不定詞）内格は「...しているときに、...している間に」という意味をもつ。
- A不定詞（＝第1不定詞）の最後の-Aを-essAに変えれば e不定詞内格が得られる。

kirjoittaa > kirjoittaessa 「書くときに」

mennä > mennessä 「行くときに」

- -essAの前で e は i に変わる。

lukea > lukiessa 「読むときに」



時相構文とkun-節の違い

●分詞構文

Isä nukkuu **äidin lukiessa** lehteä.

● kun-節

Isä nukkuu, **kun äiti lukee** lehteä.

●① kun-節の主語が時相構文では属格。

② kun-節の動詞が時相構文ではe-不定詞内格。



e 不定詞内格を使う時相構文の例

● **Äidin lukiessa** lapset kuuntelivat.

= Lapset kuuntelivat **äidin lukiessa**.

母親が読んでいる間、子どもたちは聞いていた。

● **Perheen muuttaessa** Suomeen olin lapsi.

= Olin lapsi **perheen muuttaessa** Suomeen.

家族がフィンランドへ移住したとき、私は子どもだった。

● 時相構文は文の前半・後半どちらにも現れうる。



e 不定詞内格を使う時相構文—練習

●時相構文に直す。

Kun Mikko tuli kotiin, Leena oli jo nukkumassa.

ミッコが家に戻ったとき、レーナはもう眠っていた。

Kun Leena tiskasi, Mikko puhui puhelimessa.

レーナが洗い物をしている間、ミッコは電話で話していた。

Minä grillaan makkaraa, kun Maija tekee salaattia.

マイヤがサラダを作っているとき、私はソーセージをグリルする。

Kun kesäloma alkaa, ruuhkat lisääntyvät.

夏休みが始まると渋滞が増える。

Milla hymyilee, kun vieraat syövät kakkua.

お客たちがケーキを食べている間、ミッラは微笑んでいる。



e 不定詞内格を使う時相構文—練習解答

●時相構文に直す。

Mikon tullessa kotiin Leena oli jo nukkumassa.

ミッコが家に戻ったとき、レーナはもう眠っていた。

Leenan tiskatessa Mikko puhui puhelimessa.

レーナが洗い物をしている間、ミッコは電話で話していた。

Minä grillaan makkaraa **Maijan tehdessä** salaattia.

マイヤがサラダを作っているとき、私はソーセージをグリルする。

Kesäloman alkaessa ruuhkat lisääntyvät.

夏休みが始まると渋滞が増える。

Milla hymyilee **vieraiden syödessä** kakkua.

お客たちがケーキを食べている間、ミッラは微笑んでいる。



時相構文と所有接尾辞（1）

- e不定詞内格の主語に相当するのが人称代名詞の属格なら、e不定詞内格には所有接尾辞がつく（1・2人称の代名詞は省略されうる）。

(**Minun**) **asuessani** Japanissa oli iso maanjäristys.

「私が日本に住んでいるとき、大きな地震があった。」



時相構文と所有接尾辞 (2)

- e不定詞内格の主語に相当するものが文全体の主語と同じ場合には、所有接尾辞のみが使われ、属格の名詞は置かない。

Asuessani Japanissa **tutustuin** häneen.

「私が日本に住んでいるとき、彼と知り合った。」

- **asuessassa**の主語が文全体の動詞 **tutustuin** の主語と同じく「私」なので、所有接尾辞 **-ni** がついている。



e 不定詞内格と所有接尾辞一練習

●時相構文に直す。

Menin eteiseen, kun kuulin ovikellon soivan.

ドアのベルが鳴るのが聞こえて私は玄関へ行った。

Helvi hymyili, kun hän ajatteli, mitä oli tapahtunut.

何が起こったの考えてヘルビは微笑んでいた。

Sammuta valot, kun lähdet ulos.

外へ出かけるときには明かりを消しなさい。

Kakki kuuntelivat, kun sinä kerroit Suomesta.

あなたがフィンランドについて話す間、皆が聞いていた。

Kun minä hermostun, pureskelen kynsiä.

私は緊張すると爪を噛む。



e 不定詞内格と所有接尾辞—練習解答

●時相構文に直す。

Menin eteiseen **kuullessani** ovikellon soivan.

ドアのベルが鳴るのが聞こえて私は玄関へ行った。

Helvi hymyili **ajatellessaan**, mitä oli tapahtunut.

何が起こったのか考えてヘルビは微笑んでいた。

Sammuta valot **lähtiessäsi** ulos.

外へ出かけるときには明かりを消しなさい。

Kakki kuuntelivat **sinun kertoessasi** Suomesta.

あなたがフィンランドについて話す間、皆が聞いていた。

Hermostuessani pureskelen kynsiä.

私は緊張すると爪を噛む。

